

# 阪神教協リポート

No. 18 (1995.3.31)

会長挨拶	1
1994年度における活動の概要	2
〈研究報告〉	
竹中暉雄 「開放性」教員養成と「国民教育」	6
蔵原清人 コメント 国民教育について	11
岡村達雄 コメント 戦争責任としての「国民教育」批判	13
岡村達雄 教師教育と青年認識の方法と課題	15
木岡一明 教師教育にとっての青年認識	19
—— 岡村報告を受けて ——	
加藤西郷 京都地区における教育実習成績票について	21
倉西修 学校現場からみた教育実習生受け入れの諸問題	26
鋒山泰弘 教育実習成績報告書をめぐる問題の所在	30
木岡一明 教師からみた学校経営の実践と理論	32
田中耕治 「新学力」観について	36
—— 学力評価論の立場からの検討 ——	
〈教職事務〉	
木岡一明	
高松旦治 編入学生の既習得単位の取扱い問題について	39
三宅律子 —— 教職事務部会のアンケートから ——	
難波江美千穂	
〈教員の資質向上連絡協議会報告〉	
大阪府教員の資質向上連絡協議会年次報告 (田中俊也)	52
〈会員大学自己紹介〉	
大阪経済大学	53
近畿大学	54
〈書評〉	
竹中暉雄著『囲われた学校——一九〇〇年』 (尾崎ムゲン)	55
宮台真司著『制服少女たちの選択』 (江間史明)	57
〈資料〉	
1994年度定期総会の記録	59
1994年度活動方針および事業計画	63
1994年度幹事校会の記録	69